

陝北の旅・報告そのⅣ

橋 詰 滋

★ 6. 6 日目（9 月 27 日）

9 月 27 日（木）、曇りのち雨。この日で観光は終わりではありますが、旅行中は雨ばかりとなりました。田井さん曰く、「陝西省は晴天がばかり」とのことだったが、これだけ雨が多いとなると、我々の中に必ず雨男がいるに違いありません。

前日から宿泊しているホテルは、西安でも有数の 4 つ星ホテルです。朝食バイキングは種類が豊富であり、これまでの 3 日間で宿泊したホテルにはなかった飲み物のバイキングもありました。ただ、この 4 つ星ホテルにも欠点があり、浪花さんの部屋ではシャワーの排水が溜まり、シャワールームが浸水し、また柳田さんの部屋ではテレビの電源が消えないトラブルがあったようです。

朝食後、早速、西安市内観光に繰り出しました。この日のガイドは黄氏の他に、西安の旅行社の孫萍^{ソンピン}さんという女性ガイドも加わりました。彼女が加わったことにより、男性陣のテンションが上がったような感じがしました。

バスの中では孫さんの西安に関する説明を受け、最初の目的地である華清池に到着しました。華清池は温泉地であり、唐の玄宗皇帝と楊貴妃がデートを重ねた場所です。

園内には、楊貴妃が入浴したであろう浴槽や皇



兵馬俑の一団

帝専用の浴槽（100 人くらい入浴できる）がありました。湯は張ってありませんでしたが、当時の様子をなんとなく想像できる感じがしました。

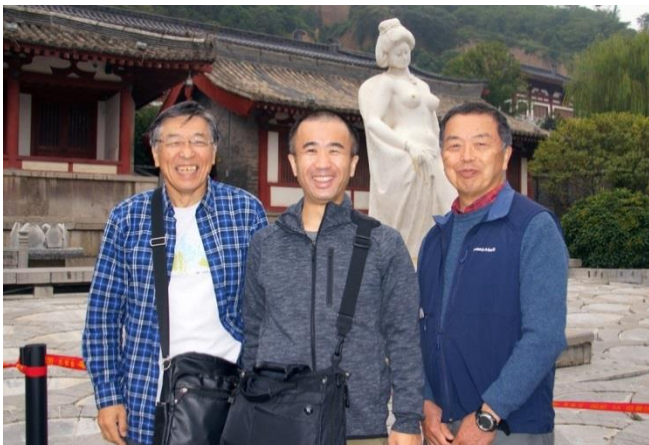
華清池を見学した後、西安観光のメインである兵馬俑博物館に移動しました。兵馬俑は秦の始皇帝のお墓近くに埋められた兵士や馬の形をした埴輪^{ハルル}であります。

館内は非常に混雑しており、じっくりと鑑賞することは難しかったです。まだ未発掘のものや修復中の兵馬俑も多く、一部では写真撮影の規制がかけられていました。

昼食を博物館内でした後、食堂の 1 階の売店にて、兵馬俑のレプリカを物色していたところ、店員より 600 元の「将軍・兵士・馬の 3 点セット」を、半額の 300 元にするから買ってくれと言われ、榎野氏と私は 3 点セットを購入しました。

だが、翌日、西安空港の売店で、この 3 点セットよりも重さが軽いものが 80 円で売っていることを知ることになります（少しショックを受けましたが、自分では材質が館内で購入した方がいいと言いついて、納得している状況です）。

兵馬俑博物館の後、雨の中、始皇帝陵を見学しましたが、未発掘であるため、小山と公園があ



楊貴妃像前で記念撮影

るのみで、ただ足元を濡らしただけでありました。

その後は、西安市内に戻り、黄さんに無理を言
って、新華書店やスーパーに寄っていただき、料
理本や西安名物の水晶餅を購入しました。

最後の晚餐は、非物質文化遺産であり、西安で
も有名な徳發長にて餃子宴となりました。彩りと
りどりの、珍しい餃子を食べました。毎回、食べ
きれないほど出てくる食事により、この旅行の期
間中に、我々の体重は確実に上昇しているはずで
す。帰国後は、ダイエットをしなければならない
と、思いました（実際に2～3kg増のため、減量
しました）。

食後は、歌舞大劇院にて伝統的な歌劇を鑑賞し
ました（西安古来の楽器を使ったミュージカルの
ようなもの）。名前は忘れましたが、8番目の演目
はお勧めです。

鑑賞後は、ホテルに戻り、この日1日お世話に
なったガイドの孫さんとお別れとなりました。非
常に流暢な日本語でガイドをしていただき、そし
て和ませてくれて、本当にありがとうございました。
また大阪組の浪花氏と槇野氏とは、明日の出
発時間が異なるため、この場でお別れの挨拶及び
次回の再会を約束しました(?)。

★7. 7日目（9月28日）最終日？

9月28日(金)朝は霧。本日は帰国日です。早朝
4時に起床し、5時にホテルをチェックアウトしま
した。趙氏が運転するバスで、西安空港に向かい、
空港の入口にて、趙氏に最後の挨拶をしました。6
日間、安全運転に努めていただき、本当に感謝し



餃子宴と柳田夫妻

ます。

黄氏には、空港の出国カウンターの手前まで見
送りに来ていただき、そこで最後の挨拶をしまし
た。300キロ以上離れた山西省太原市からわざわざ
西安に来ていただき、念入りな下調べをした分
かりやすいガイドをしていただき本当に感謝しま
す。

出国カウンターを抜け、待合ロビーにて、我々
は驚愕の事実を知ることになります。我々が搭乗
する成田空港行きのMU522便は霧のため、出発が
当初の7時30分から13時頃に変更となったよう
です。我々はすでにセキュリティチェックを受け
た後のため、後戻りできず、この時点で7時間近
く待つことが決定しました。周りは、気紛れで開
店する商店しかありません。また、東方航空職員
からは、青島経由関空行きの便（大阪組の搭乗予
定の便）であれば、振替可能であるとの案内があ
りました（ただし、関空到着後の日本国内の移動
は自己負担）。関空到着が深夜であるため、結局当
日中に関東に帰ることができないので、振替手続
きをするものは皆無でした。

12時になり、東方航空より、弁当が支給され、
食事をしていたところ、何か見覚えがある人影が
ありました。近づくと、大阪組の浪花さんと槇野
さんでは、あ～りませんか！！

2人は空港に来る途中で、黄氏より成田空港行
きの便は遅れていると聞いていたようでありまし
たが、まさかこんなに遅れているとは思っておら
れず、その驚きの表情は計り知れないものであり
ました。昨晚、「機会があったら再会しましょう」
と言ったばかりなのに、その機会がこんなに早く
到来するなんて、夢にも思いませんでした。

関空便の出発まで2時間ばかり、談笑した後、
大阪組の2人とは二度目のお別れの挨拶をしまし
た。ちなみに関空便も若干遅れていたようです。

関空便が出発した後、周りは賑やかな大阪の方々
がいなくなったため、急に静かになり、しばし、成
田空港便を待つことになりました。この時点で、

13 時が過ぎ、約束の出発時刻が 15 時頃に延長されました。

しかし、約束の 15 時頃になっても、搭乗の案内はなく、航空会社からの情報提供もないまま、時間が過ぎ去っていきました。それにしても、情報がないのは、本当に困ります。また、航空会社の職員も若い者がたまに来るだけで、管理職らしき者は現れません。そのような中、この便に搭乗予定の日本の某H旅行会社の女性添乗員（日本人）が航空会社の係員に対して、流暢な中国語で詰め寄っていたが、係員は「私は下っ端なので何も分からない」という態度でありました。それにしても、あの様にクレームを言えるまで中国語ができるなんて大したものでもあります。また、この添乗員の方は、航空会社の方とやり取りをしていた上、某社のツアーに参加していない我々に対して、情報提供をしていただき、本当に感謝しています。いつかは某H社のツアーを利用してみたいです。

結局、我々は 17 時過ぎにようやく、MU521 便に搭乗することができました。朝 6 時に待合室に到着してから、同じ場所で 11 時間過ごしたことになります。MU521 便は 17 時半すぎに西安を離陸しましたが、本日中に成田空港に到着することはできないため（成田空港は 23 時以降離発着禁止）、途中の上海までの便と変更となりました。ここで我々の帰国は 1 日延長したことになります。

後で判明したことでありますが、MU521 便は、前日に成田空港を出発した MU522 便の折り返し

便であり、西安空港に着陸するはずが、霧のため、武漢空港への着陸となったそうです。武漢から西安まで機材を回送することができず、代替りの機材を探していたため、時間がかかったようです。

20 時に上海到着後、我々は航空会社から 600 元のお小遣い（迷惑料かな？）と、浦東空港近くのホテルの提供を受けました。22 時頃に、ホテルに到着し、この日の長い日程は終了しました。非常に無駄な一日を過ごし、大して動いていないが、何か疲労が甚だしかったです。もう少し早くに飛行機が飛ばないことが分かれば、西安観光を楽しめたはずです。お小遣いの 600 元は使うところがなく、そのまま日本に持ち帰りました。次回の旅の資金にします。

★ 8. 8 日目（9 月 29 日）本当の最終日

9 月 29 日（土）、晴れ。朝 6 時にホテルを出発し、浦東空港に向かいました。今日は何もトラブルがなく、無事帰国できることを祈るばかりです。6 時半頃に、空港に到着し、我々が搭乗する MU523 便には、遅延やキャンセル等の表示がなく、ひとまず安心しました。

8 時 20 分に搭乗し、9 時に上海を出発し、予定通り成田空港に 13 時に到着しました。14 時には空港近くの駐車場より、私の車で出発し、東関東道、首都高速、東名高速を経て、柳田夫妻を無事ご自宅にお届けし、私は 16 時半すぎに自宅に到着しました。

これにて、我々東京組の 7 日プラス 1 日の旅行は終わりました。

この旅行を振り返れば、いろいろなトラブルがあったが、普段足を踏み入れることができないところに行け、貴重な体験ができたと思います。非常に多くの方々に助けられ、他人のありがたみをひしひしと感じた 1 週間であります。

今回掲載の写真も全て浪花氏からのご提供によるものであります。ありがとうございました。

皆様ご精読ありがとうございました。（完）



思わぬ再会！！